

受託候補者特定基準

分類	区分	企画提案書に記述する事項	配点× 係数	評価点	評価基準
1 システム開発等	1-1 システムの概要	仕様書の内容を踏まえ、導入予定のホームページコンテンツ管理システム製品の仕様、当初バージョン販売開始日、バージョンアップの経緯、アピールポイントを記述すること。また、以下の項目について、その概要、特徴、実現方法について、操作画面を添付するなどして記述すること。 (1) コンテンツ作成・更新等（ワード及びエクセルのような操作性、アクセシビリティチェック（日本産業規格 JIS X 8341-3:2016 で示された達成レベル「AA」に準拠するチェック）作業を含む。） (2) トップページ編集 (3) ユーザ管理 (4) レスポンシブデザイン	5×1	5	提案するシステム製品は、バージョンアップ等の定期的なメンテナンスが行われているか。
			5×2	10	特殊な技能・知識が必要なく利用できるか。
			5×1	5	日本産業規格 JIS X 8341-3:2016 で示された達成レベル「AA」の準拠に向けて、システム製品と本局職員との役割分担が明確になっているか。
	1-2 システムの機能要件	「ホームページコンテンツ管理システム機能要件確認書」で示す各機能について、実現の可否を記述すること。		75	「ホームページコンテンツ管理システム機能要件確認書」に基づき評価する。
1-3 有益なシステム機能の提案	「ホームページコンテンツ管理システム機能要件確認書」に記述していない機能について、委託契約金額の範囲内で本局にとって有益かつ実施可能な提案があれば記述すること。	5×2	10	提案するシステム機能は、委託契約金額の範囲内で本局にとって有益かつ実施可能な提案であるか。	
1-4 ユーザビリティ、デザイン		ホームページ利用者のユーザビリティを考慮したユーザーインターフェイスの考え方・実現方法等について、以下のページデザインを示して具体的に記述すること。 (1) サイトトップページ（第1階層） (2) 水道をご利用のお客さまへ、事業者の方へ、キッズページ等のミニサイト（第2階層～） (3) スマートフォンサイトトップページ（レスポンシブデザイン）（第1階層）	5×2	10	利用者が短時間で欲しい情報にたどり着くよう検討されているか。
			5×2	10	ホームページ利用者のユーザビリティを考慮したユーザーインターフェイスの考え方、実現方法等について、全工程について具体的に記述されているか。
			5×1	5	トップページは直観的に情報が判断できるデザインとなっているか。

			5 × 2	1 0	提案するページデザインについて、設計に至ったプロセスの記述やホームページ利用者の使いやすさ等への配慮の記述がなされているか。
1-5 ウェブアクセシビリティ支援ツール等	導入するウェブアクセシビリティ支援ツール、音声読み上げ機能、自動翻訳サービス、検索システム及びFAQ管理機能で利用する製品名、仕様、導入実績、アピールポイントなどを記述すること。	5 × 1	5	音声読み上げ機能は、本文から読み上げるなどの読み上げ場所の指定や、地名、固有名詞等の辞書登録ができるか。	
		5 × 1	5	全てのページで、簡単に自動翻訳サービスを利用することができるか。	
		5 × 1	5	検索システムは、知りたい情報にすぐにたどり着けるものになっているか。	
		5 × 1	5	FAQ管理機能は、利用者にとって必要な情報が抽出しやすいものとなっているか、また職員にとってコンテンツ等を作成しやすいものとなっているか。	
1-6 データ移行	仕様書の内容を踏まえ、データ移行の方法、本局職員へのサポート体制等について具体的に記述すること。	5 × 2	1 0	データ移行の方法やサポート等が適切で具体的に記述されているか。	
		5 × 1	5	本局との役割分担が明確になっているか。	
		5 × 1	5	本局の職員負担軽減を考慮したデータ移行スケジュールとなっているか。	
1-7 職員研修	職員研修についての考え方や、具体的な方法、スケジュール、実施体制等について記述すること。	5 × 1	5	職員研修についての考え方や、具体的な方法、スケジュール、実施体制等が、適切で具体的に記述されているか。	
		5 × 1	5	本局との役割分担が明確になっているか。	
1-8 スケジュール、プロジェクト管理	システムの設計・開発、テスト、職員研修、データ移行等の正式稼働までに必要な全ての作業項目と工程について、詳細なスケジュールを記述すること。 また、会議や全体の進め方等のプロジェクト管理に関して、考え方や具体的な方法を記述すること。	5 × 1	5	作業着手から正式稼働までのスケジュールが、設計・開発、テスト等の工程ごとに適切で具体的に記述されているか。	
		5 × 1	5	作業工程に沿ったマイルストーン(中間報告日といったような目標となるスケジュール上のポイント)について具体的に記述されているか。	

			5 × 1	5	プロジェクト管理の考え方や方法等が、適切で具体的に記述されているか。
	1-9 システム 開発等の 体制	システムの設計・開発に当たっての体制及び配置予定の人員について、資格・役割・類似業務実績を具体的に示し、開発体制を記述すること。	5 × 1	5	必要な能力を有する要員を適正に配置する有効な体制となっているか。
			5 × 1	5	業務遂行責任者、主要な要員の選定については類似業務実績が十分勘案されたものになっているか。
	1-10 開発実績	<p>提案するシステムと類似したシステムの開発実績、アピールポイントなどを記述すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相手先</li> <li>・ 開発期間</li> <li>・ 稼動開始時期</li> <li>・ クライアントパソコンの数</li> <li>・ コンテンツ数</li> </ul> <p>※プロポーザル説明書の通り、副本については、応募者の社名、企業ロゴ、社名を連想させるもの等を記載しないこと。</p>	5 × 2	10	提案するシステムと類似したシステム（国、都道府県、政令指定都市又は中核市のホームページ）の開発実績（平成28年4月以降）を有しているか。また、その実績件数が多いか。
2 保 守・運用 等	2-1 保守・運用 等の体制	システムの保守・運用に当たっての体制及び配置予定の人員について、役割・類似業務実績を具体的に示し、保守・運用体制を記述すること。	5 × 1	5	必要な能力を有する要員を適正に配置する有効な体制となっているか。
			5 × 1	5	業務遂行責任者、主要な要員の選定については類似業務実績が十分勘案されたものになっているか。
	2-2 データセ ンター	データセンター名、設備内容、管理体制、アピールポイント及び政府機関・地方公共団体の導入実績について記述すること。	5 × 1	5	提案するデータセンターの設備内容、管理体制等は、本局の条件を満足させるものであるか。
			5 × 1	5	本局が所有する情報資産の機密性、完全性、可用性を確保した運用が可能であるか。
	2-3 機器等の 性能、構成 等	提案するシステムに関する全体構成図を作成するとともに、災害時の負荷分散、レスポンスの改善やアピールポイントなどを記述すること。	5 × 1	5	コンテンツの数やサーバへのアクセス件数等が増加した場合においても、機器の増設や負荷分散によるレスポンスの改善など、将来的な拡張が可能であるか。

			5 × 1	5	サーバダウンや回線の故障（障害）等が発生した場合でもサービス停止が生じないような措置が講じられているか。
	2-4 保守・運用 サービス	仕様書の内容を踏まえ、保守・運用サービス、ヘルプデスク、障害対応、災害対応、セキュリティ対策について具体的にその内容、方法などを記述すること。	5 × 1	5	保守・運用サービス等について、内容等が適切で具体的に記述されているか。
			5 × 2	10	障害対応、災害対応について、内容等が適切で具体的に記述されているか。
			5 × 1	5	ホームページの改ざん防止等を考慮したセキュリティ対策について具体的に記述されているか。
			5 × 1	5	セキュリティメーカーサポートと、導入実績等が具体的に記述されているか。
3 ヒ ア リ ン グ	3-1 説明・対応 能力	※プロポーザル説明書の通り、ヒアリングは原則、開発・保守運用業務に携わる者（現場責任者等）が実施すること。	5 × 1	5	提案等が論理的に説明されているか。
			5 × 1	5	提案資料が分かりやすいものとなっているか。
			5 × 1	5	質問等に対し、適切な回答ができていないか。

## 注意事項

### 1 評価基準について

提案については、関係法令が遵守されること、また、仕様書との整合が取れていることを前提として、評価項目ごとに下表のとおり5点を限度として評価するものとし、受託候補者特定基準に示す係数を乗じて評価点とする。評価方法の詳細については、次のとおりとする。

区分	点数					
	0	1	2	3	4	5
評価	・記述がない。 ・仕様書に整合しない。	非常に劣っている。	劣っている。	普通である。	優れている。	非常に優れている。

(1) 提案内容の一部又は全部が違法と認められる場合は、その提案者のした提案を無効（失格）とする。

- (2) 仕様書と整合しないときは、他の部分で優れた内容であっても点数を0とする場合がある。
- (3) 根拠や具体性がないなど、評価の判断材料に欠けるときは、点数を0とする場合がある。
- (4) 「ホームページコンテンツ管理システム機能要件確認書」に基づき評価する項目の評価方法は次のとおりとする。

必須区分	要件への対応		
	ア	イ	ウ
必須	0点	0点 (備考に代替案が示されていない場合は、その提案者のした提案を無効(失格)とする。)	その提案者のした提案を無効(失格)とする。
推奨	1点	0.5点 (備考に代替案が示されていない場合は0点)	0点

※各項目数 必須：172 推奨：75

## 2 受託候補者の特定について

最高得点者（提案者の中で評価点の合計が最も高い企画提案書等を提出した者）を受託候補者とするが、次に掲げる場合については、この限りでない。

- (1) 評価点の合計が満点の5割に達していない場合
- (2) 最高得点者が2者以上あったときに、「広島市水道局ホームページシステム開発及び保守・運用等業務公募型プロポーザル説明書」の規定により受託候補者に選定されなかった場合